

広報

# かつやま

Katsuyama City Newsletter



7月号

No.549

平成13年7月12日発行

## 清流滔滔

### CONTENTS

緊急報告 京福事故

議会報告 6月定例会

Hot・話題

出会いふれあい

(7/2 荒土町新道 四川上流)

## 京福越前線衝突事故

# 市民に衝撃

## 通勤・通学混乱

6月24日午後6時過ぎ、京福電鉄越前本線の発坂駅から約300メートル保田駅寄りの線路上で、上りの普通電車と下りの急行電車が衝突。乗員、乗客合わせて25人が重軽傷を負いました。翌日から運行が始まった代行バスは交通渋滞に巻き込まれ、通勤通学者等の足に大きな影響を与えています。昨年12月の松岡町での衝突事故から半年。勝山市内で再び起きた惨事は、市民に衝撃を与えました。

### 事故対策本部を設置

### 存続運動継続を確認

市では、事故発生直後に市長をはじめ担当者らが現場に駆けつけて情報収集に当たり、午後8時に4役と全部長で構成する災害対策本部（「勝山市京福線事故対策本部」）の設置を決定しました。対策本部では電車の利用者への対応を最優先に、翌日から運行される代行バスによる影響が極力出ないよう会社側に要請するとともに、京福電鉄との連絡を密にしながら対応に当たることを確認しました。さらに、翌日開かれた対策本部の会議で、「事故と電車の存続問題は区別して考えるべき」として、存続に取り組む意欲を減退することなく継続することを決定しました。

また、市議会においても事故当日に緊急会議を開くとともに、翌日、全員協議会で京福電鉄への要望等について話し合いが行われました。

### 早期再開・

### 鉄道存続求め

### 国等に要望

このような対応の中で、山岸市長と北山議長との連名による、国、県、京福電鉄に対する要望



事故対策本部の会議（6/25 勝山市役所）

書の提出を決定。6月26日に、鉄道運行にかかる補助制度と財政支援の拡充、及び通勤通学者への特段の配慮を求める要望書を、国土交通省中部陸運局福井陸運支局長と福井県知事、福井県議会議員に提出しました。さらに6月28日には山岸市長自らが上京し、西川副知事とともに国土交通省を訪ね、同様の要望書を提出しました。京福電鉄に対しては、山岸市長が直接今回の事故に対して遺憾の意を伝えるとともに、代行バスの円滑な運行と徹底した原因究明を求めました。

このたびの事故で負傷されたみなさまがたに、心よりお見舞い申し上げます。市といたしまして、国及び事業者に対しまして事故原因の徹底した究明を求めています。みなさまがたの一日も早い回復を願っております。



▲朝の交通渋滞に巻き込まれる代行バス  
(7/5 朝7時20分ごろ永平寺町光明寺)

# 存続運動は 継続!!



## 京福に対応申し入れ 路線図を全戸配布

事故の翌日から運行が始まった代行バスは、交通渋滞の影響で30分ほど遅れて福井駅に到着し、通勤通学者が遅刻する事態になりました。その後、電車運行時のピークである7時台から6時台に繰り上げて代行バスを利用する乗客が増え、6時52分発の代行バスは定員を上回るようになりました。さらに、JRや市内バスとの乗り継ぎに影響が出ています。市では利用者の状況を判断して、バスの台数を増やすなどの対応を図るよう京福電鉄に申し入れました。

市ではこのほか、代行バス路線図を6月の第4木曜日に全戸配布するなどして、市民への情報提供に努めています。



## 市区長連合会は 署名運動

勝山市区長連合会では、今回の事故を受けて6月29日に緊急の常任理事会を開催し、区長会としての対応を検討しました。会議に先立ち滝川会長は、「電車が全面ストップし、利用者が不便を強いられている」といった現状を報告。理事会として存続の意向に変わりはないことを確認し、全市民を対象

とした署名運動により今一度存続を訴えることを決定しました。

区長連合会では1日も早く署名運動を展開するとともに、沿線市町村の自治会組織にも同様の取り組みをするよう申し入れることにしています。

## 国に提出した要望書の要旨

事故により、地域住民の生活の足としての機能が損なわれ、通勤・通学に混乱が生じ、沿線住民の生活への影響が危ぐされる。地域相互の連携を深め、自立的発展を遂げるためには、長期的な展望に立って地方における公共交通機関のありかたについて、じゅうぶん論議をする必要がある。さらに地方においては、高齢者などの交通弱者対策、地方自治体の過疎化対策等の観点から、総合交通体系を確立する必要がある。

- 1 事故原因調査と対策を速やかにすすめ、一日も早く全線運行を再開すること。
- 2 鉄道軌道近代化設備整備費補助および鉄道の経常損失にかかる財政支援措置の拡充を図ること。
- 3 鉄道の運行維持に要する地方公共団体の経費について、じゅうぶんな財政支援措置を講ずること。
- 4 特に、鉄道路線を道路や橋と同じく社会資本と見なし、線路の整備、維持管理を公共で行う仕組みを確立し、そのための財政支援措置を創設すること。

## JR線乗継バス増発

代行バスの遅れから、7時58分発「雷鳥」、8時3分発「加越」への乗り継ぎの便が悪いため、6時30分発の代行バスを増便しました。(7月6日)

電車発車時刻 (勝山駅)	変更後の代行 バス発車時刻
5時10分	5時10分
5時58分	5時58分
—	6時30分
6時52分	6時52分
⋮	⋮

## 6月補正予算など5件を可決 意見書3件、陳情2件も



6月定例市議会が6月8日から22日までの日程で開催されました。平成13年度一般会計補正予算など5件と意見書3件を可決、陳情2件を採択しました。  
6月13日と14日に一般質問が行われました。

### 決まった主な内容

#### 予算

平成13年度一般会計は5189万6千円増額して120億2512万6千円に、特別会計の温泉センター会計は80万円増額して1億1743万円となりました。

主な事業では、エコミュージアム推進計画策定事業費に1125万5千円、成器西小学校の階段昇降機設置に517万8千円、ナラ類集団枯損被害対策事業に100万4千円、長尾山総合公園休憩施設整備に250万円、IT講習会事業に278万5千円となっています。このうちエコミュージアム推進計画策定事務委託料については、「議会の同意が得られるまでは執行を留保されたい」との意見を付して可決されました。

また、平成13年度老人保健特別会計補正予算の専決処分が承認されました。

#### 条例改正等

- 市道路線の認定「市道2-145号線（北郷町西妙金島）、市道5-79号線（村岡町郡）、市道11-132号線（鹿谷町杉俣）」

- 福祉事務所設置条例等の一部改正「社会福祉事業法の改正による」

#### 意見書

- 豪雪地帯対策特別措置法第14条、第15条の期限切れの対応に係る意見書
- 食料・農業・農村政策に関する意見書

- 道路特定財源の確保に関する意見書

#### 陳情

- 米飯学校給食の拡充に関する陳情書
- 市道3-6号線の一部改良について

#### お知らせ

※6月議会より、本会議の様子（音声）を市役所内の庁内放送で流しています。市役所ロビー等でお聞きになることができます。

※10月から市議会が編集する「議会だより」が発行されることになりました。本会議の一般質問等については、9月議会の内容から、議会だよりに掲載されることとなります。

# 一般質問

(要旨)

## 道路特定財源の見直し等について

(答) 全国市長会において、「地方交付税総額を安定的に確保すること」、「地方交付税の減額は絶対行わないこと」、「交付税の算定に当たっては実情を把握すること」などについて、適切な措置を講じるよう強く要望することを決議した。小泉首相は、「税財源の見直しは独断実行しない。地方の多種多様な議論をもとに検討をすすめる」としている。

## 「いのちの教育」について

(答) 「いのちの教育」についてはじゅうぶん認識している。来年度から学校週5日制が実施されることや、総合的な学習が導入されることなどを考慮し、当市の教育計画や「勝山の教育」を再検討したい。新年度は市の教育ビジョンを市民にわかりやすく示すことができるよう努力したい。

## 運搬方式による

## 学校給食の考え方について

(答) 坂井郡の6町や福井市の一部で運搬方式による給食を行っている。当

市では初めてなので、じゅうぶん研究するとともに、関係者のご理解とご支援をお願いしたい。近く、PTAのたにも入っていただき、給食問題検討委員会を立ち上げたい。

## エコミュージアムでの食材の活用について

(答) そばをはじめとする食品についても、「健康で安全な食品の提供を心がける」という主旨の徹底を図っていく。

## エコミュージアム構想での水辺広場の整備について

(答) 水辺環境の整備と活用は、エコミュージアムのたいせつな要素である。どのような整備が必要かなどについて、じゅうぶん研究していきたい。

## 国保税の軽減について

(答) 国保財政の予測は非常に難しい。新年度予算作成時期に、国民健康保険基金との整合性や、適正な賦課のあり方など、国民健康保険特別会計全般について検討する。

## 健康福祉センターについて

(答) 地場産業振興センターの活用を検討したが、国、県への補助金の返還額が大きいため、新規に建設する方針で検討をすすめることになった。関係団体や市民の意見もじゅうぶん聞きながら、基本的な考え方や事業費等を決定していきたい。建設場所は、エコミュージアム構想との整合性を図りながら、ゾーニングを行う中で決定していきたい。

## 中央保育園の民営化について

(答) 民営化により、市の負担は軽減するものと思っている。民営化することによって、臨時保育士の民間保育園での正職員化と、延長保育等が可能になると思う。受け入れ先は市内の民間保育園理事長会に検討をお願いした。

## 長尾山開発の見直しについて

(答) 1期事業エリアについては、博物館周辺のイメージアップも急務となっており、早期供用開始に向けて整備をすすめていきたい。2期事業については、市民待望の体育施設建設の選択肢として、検討をすすめていく。オオタカ保護については、このほどまとめた環境保全計画報告書の主旨を尊重し、自然環境の保全にじゅうぶん配慮

## 一般質問

### 橋山 弘 議員

1. 小泉内閣の政策、道路特定財源の見直しと地方交付税削減等について。
2. 教育問題に関連して次の点を問う。
  - ①勝山の教育方針に、「いのちの教育」の項目を入れることについて。
  - ②野向小学校における、運搬方式による学校給食の考え方について。
3. エコミュージアム構想に関連して次の点を問う。
  - ①食材の活用について。
  - ②水辺広場の設置について。

### 山田 安信 議員

1. 地域経済を破たんさせる小泉内閣の構造改革について。
  - ①中小企業資金融資制度と雇用対策について。
  - ②国保税の軽減について。
2. 健康福祉センターについて。
  - ①くるくる変わる計画案について。
  - ②健康福祉センターの機能について。
  - ③事業費の考え方について。
  - ④建設場所の選定について。
  - ⑤市民参加での検討について。
3. 中央保育園の公設民営化について。
  - ①中央保育園の公設民営化はいつだれが決めたのか。
  - ②公設民営化は市の負担を増やす。
  - ③公設民営化の目的は何か。
  - ④公設民営化計画の取り扱いについて。
4. 長尾山開発の計画見直しについて。
  - ①いつまで行うのか。
  - ②すすめ方について。
  - ③判断基準について。
  - ④1期事業の見直しについて。
  - ⑤オオタカ保護について。
5. エコミュージアム構想の策定の必要性について。

していきたい。

## エコミュージアム構想におけるコア施設と

### サテライト施設について

(答) 地域のアイデンティティー、住民が誇れるまちを基本としたい。過去の遺産だけでなく、生活を見つめなおすという新しい視点が生まれてくる。先進地の事例も研究しながらすすめていきたい。

### 児童生徒の体力低下対策について

(答) 瞬発力と持久力は県平均を下回っているが、その他は県平均と同等の水準にあると考えている。各学校においては、児童生徒の実態把握や分析に努め、体育の授業や全校的な体育活動の中で、一人ひとりが健康や体力について考えて実践できるよう支援している。

### 学校評議員制の導入について

(答) 地方分権の時代において、学校評議員制度の主旨は活かされてしかるべきであると考えている。制度を取り入れるのがよいのかどうかについては、検討委員会の結論を待ちたい。

### ごみの減量化について

(答) 可燃ごみは平成10年度より、約2400トンの減量になっている。ごみの減量化は、行政、市民、販売店、

## 一般質問

### 手塚貞臣 議員

1. エコミュージアム構想に関連して次の点を問う。
  - ①構想の策定について。
  - ②行政と住民の協働について。
  - ③コア施設とサテライト施設について。
2. 教育政策に関連して次の点を問う。
  - ①給食のあり方について。
  - ②体力低下対策について。
  - ③学校評議員制度について。
  - ④ラジオ体操の徹底について。
3. ごみの減量化について。
  - ①ごみの減量化の現状について。
  - ②循環型社会の構築について。
  - ③ごみ減量化推進会議について。
  - ④5Rの徹底について。
4. 地球温暖化対策について。
  - ①国の基本方針について。
  - ②市の計画策定について。

### 小林喜仁 議員

1. 広域市町村圏計画と市総合計画について。
2. 健康福祉センターの建設について。
3. ごみ処理に関連して次の点を問う。
  - ①広域ごみ処理場の建設促進について。
  - ②クリーンセンター解体撤去について。
4. 中央保育園の民営化について
5. ITの推進について。

製造者がそれぞれの役割や課題解決の中での取り組むことが最も重要であると考えている。さらなる減量化に向けて取り組んでいきたい。

### 地球温暖化対策について

(答) 平成12年3月に県が策定した計画に沿い、太陽光発電設備導入促進事業やリサイクル推進など、温室効果ガス削減に向けて取り組んでいる。庁内にあつては、ISO14001取得に向けて取り組んでいる。環境教育もすすめていく。

### 広域市町村圏計画について

(答) 広域市町村圏計画は国、県の計画との整合性を保つ中で、圏域内の活発な交流と連携を軸に、総合的に活性化を図ることとしている。じゅうぶんな協議のもとに計画が策定されている

もの思っている。

### クリーンセンター解体撤去について

(答) ダイオキシンの濃度のサンプル採取を行い、測定作業に入っている。順調にいけば、7月中旬ごろから汚染物の除去作業を行い、8月下旬ごろから本格的な解体作業に入るのではないかと考えている。

### 広域ごみ処理施設の建設について

(答) 広域事務組合で建設予定地係の関係区と交渉に入り、理解を得るよう鋭意努力している。また、NPO法人に委託して、当広域圏の処理計画に最も適合した処理方式を選択すべく検討している。

### ITの推進について

(答) IT講習は来年度、多様な講習体系に切り替え、選択して利用できるような体制づくりも検討したい。CA TVや光ファイバーなどの高速・大容量の情報通信基盤整備について、じゅうぶん検討していきたい。

### 繊維産業の現状と行政支援について

(答) 現在においても厳しい状況にあり、後継者難により廃業を余儀なくされている企業もあると聞いている。国や県の各種産業支援制度を積極的に活用していただく中で、市としても積極的に支援していきたい。「ふるさとルネッサンス事業」による幅広い交流をすすめる中で、「ビジネスチャンスの拡大を図るなど、繊維産業の振興に努め

ていきたい。

**中小企業産業大学校の講座誘致について**

(答) 地元企業の要望も聞きながら、地場産業振興センター、繊維協会、商工会議所等と協議し、対応していききたい。

**教育行政について**

(答) 子どもが生まれてから高校を卒業するまでの18年間は、一連のものとしてとらえる必要があると考えている。特に学校教育の12年間は、学部活動、PTA活動などにおいて教育効果を上げるために連携を深める必要がある。

**学校週5日制による学力低下防止について**

(答) 知識・技能だけでなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを含めて学力としてとらえ、しっかりと身につけさせることがたいせつであると考えている。週2日間の休業日の対応は、まず家庭で行うものと認識しているが、学校施設を子どもを含めた市民活動の場として活用するための条件整備をしていきたい。

**長尾山総合公園の整備について**

(答) 夏休みまでには恐竜エキスポが開催されたエリアをオープンできる予定である。

市民待望の体育施設用地については、長尾山総合公園を選択肢の1つとして、じゅうぶん検討していきたい。

**バランスシートの導入について**

(答) 他自治体との比較ができて初めてバランスシートの活用方法がある。今後とも7市行政問題研究会などにおいて、じゅうぶん他市の意見を聞きながら検討する。

**PF1方式の導入について**

(答) 責任の所在、法令等の関係、どのようななかたちで財政措置を講じられるかなど、検討課題もある。国の基本方針やガイドラインを参考にしながら検討する。

**新エネルギーの導入について**

(答) 新エネルギーはエコミュージアム構想に通じるものがある。太陽光発電については積極的に検討していきたい。

**農業用廃棄物の処理について**

(答) 平成12年1月に農業用使用済資材等適性処理推進協議会を設置し、回収・処理をすすめてきた。昨年は2回で4・9トン、本年は1回で4・4トンが運びこまれた。今後とも回収処理の体制整備、適正処理に関する情報提供等、必要な処置を講じていきたい。

**介護保険料の低所得者に対する減額について**

(答) 介護保険料を減額すると、相当分を市税より持ち出すことになり、国

のペナルティーに抵触してくる。厚生労働省は、減免分を一般財源で補てんすることについて厳しく対応している。

**産業廃棄物処理施設の監視について**

(答) 昨年、県警から環境保全の担当者を受け入れ、保健所と合同で抜き打ちで月2回、施設の立ち入り調査を行っている。今後とも環境保全に向けて、各施策に取り組んでいく。

**市のごみ処理の実情について**

(答) 11年度の勝山市のごみのリサイクル率は34・3%で、7市の中で1番である。12年度は、県内の自治体に合計3250トン処理をお願いし、処理総額は約5600万円であった。

**一般質問**

**井上 馨 議員**

1. 繊維産業の振興に関連して次の点を問う。
  - ①現状についての考えかたについて。
  - ②行政支援について。
  - ③中小企業産業大学校の講座の誘致について。
2. 教育行政に関連して次の点を問う。
  - ①教育行政の現状について。
  - ②教科書の採択の手順について。
  - ③週5日制による学力低下防止の方策について。
  - ④社会教育の基本理念について。
3. 公園整備に関連して次の点を問う。
  - ①地域公園の現状について。
  - ②箱ブランコの撤去について。
  - ③長尾山総合公園事業の理念について。
  - ④市民の体育施設建設の期待に応えることについて。

**村田 与右門 議員**

1. 市政推進に関連して次の点を問う。
  - ①バランスシートの導入について。
  - ②PF1方式導入について。
  - ③新エネルギー導入について。
2. 介護保険に関連して次の点を問う。
  - ①現状と問題点について。
  - ②介護保険料の低所得者に対する減額について。
3. 農業用廃棄物等の処理について。
4. 産業廃棄物処理施設の監視について。

## 家電リサイクル法実施後の環境の変化について

(答) 市では法律の施行に先立ち、広報紙や会議に出向いて法律の説明とPRをしてきた。2月と6月の2カ月で、テレビ583台、冷蔵庫774台、洗濯機611台、エアコン297台の持ち込みがあった。一方、不法投棄ハトロールや郵便局との協力協定を締結して、不法投棄監視を強化している。

## 白山平泉寺の史跡公園化について

(答) 今後具体的な整備スケジュールを勝山市総合計画に組み入れ、白山平泉寺及びその周辺を含めた地域整備をすすめていきたい。施設整備関係では、史跡公園や歴史博物館の建設などを予定している。公有地化については、地権者の協力を得ながらすすめていきたい。庁内の調整連絡会議で連携を図りながら、史跡保存と住民生活との調和にじゅうぶん意を注いでいきたい。

## 夏祭りの計画について

(答) 恒例の納涼花火大会、納涼みこし大行進、ふるさとの踊り大会のほか、消防本部・消防署発足40周年にあたり、近隣の消防本部音楽隊のドリル演奏等で盛り上げていただく予定になっている。加えて、新たな企画としてステージを使った太鼓や音楽バンドの競演を予定している。

## 一般質問

### 笠松 捷多朗 議員

1. 家庭ごみの処分場に関連して次の点を問う。
  - ①勝山市、県内他市の実情について。
  - ②広域2市1村の焼却計画の現状について。
2. 家電リサイクル法実施後の環境変化について。
3. 白山平泉寺の史跡公園化への見通しと課題について。
4. 勝山夏祭りの計画について。
5. 舞台芸術文化振興について。
  - ①市民会館のピアノ格納庫について。
  - ②シアター勝山の文化活動の評価と支援について。
6. 勝山市の高校教育について。
7. 市税における法人、個人の滞納について。

### 清水 清蔵 議員

1. 水田農業の経営と転作に関連して次の点を問う。
  - ①そば、里芋等の出荷状況について。
  - ②加工品化について。
  - ③商品にみたくない品物について。
2. 中部縦貫自動車道に関連して次の点を問う。
  - ①進ちよく状況について。
  - ②市民とのシンポジウムについて。

## 市民会館の

### ピアノ格納庫について

(答) 場所が手狭なことから、舞台上<sup>じゅうぶ</sup>手そでにピアノ格納庫や音響板が置いてある。舞台そでの有効な活用について、建物の構造上の問題点、費用対効果も考慮しながら研究したい。

## シアター勝山の活動について

(答) 本物の演劇を生で見る機会を提供していただいていることに対して、敬意を表するとともに、活動を評価している。特定の団体に財政支援をすることは難しいが、シアター勝山を含めた文化団体ができるだけ活動しやすいような環境整備に努力していきたい。

## 勝山市の高校教育について

(答) 私立、県立の壁を乗り越えて交

流と連携を深めていくべきであると考

えている。校長の中高連絡会と一般教員による中高連絡会を実施してきたが、新たに養護教諭についても小・中・高の情報交換会を行うことが決定している。また、中学生、高校生が地域で参加できるような祭りや体育大会等の諸行事を考えていかなければならないと思う。

## 市税の納入について

(答) 特別な法人に関する税を除けば、市税の徴収率は県内他市と比較しても高率を維持している。個人においては、3カ月に1度の納付を1カ月ごとに分納する納税者がかなり増えている。また、電話による納税相談ばかりでなく、直接来庁して相談されるかたも多くなっている。今後は、夜間や週末の相談窓口をさらに充実させるなど、納税者

れるかたの側に立ち、親身で懇切丁寧な納税相談の開設に努め、さらなる徴収率の向上に努めていきたい。

## 転作物物について

(答) 平成12年度は、そば107トン、里芋250トン、スイートコーン1万5000本であった。作物の加工品化における製品開発研究等を検討するため、(仮称)農産物消費拡大推進協議会を組織して検討していく。市場価値のない規格外品の対応についても、同協議会で対応していく。

## 中部縦貫自動車道の

### 進ちよく状況と

### シンポジウム開催について

(答) 保田トンネル、吉峰トンネルの貫通予定は12月中旬ごろである。一部供用開始の目標を平成19年度において



いる。シンポジウムの開催については、今後国土交通省の協力を得ながらすすめていきたい。

### 市町村合併についての基本的な考え方について

(答) 市町村合併についてはまず、市議会、市民、経済界をはじめとする各種団体等の意向や考え方と動向が重要であると考えている。市議会や市民が関心をもって、議論を深めていただくことを期待している。勝山市及び市民にとって何がいちばんよいのかを基本として、対処していきたい。

### 地場産業振興センターの運営と考え方について

(答) 地場産業振興の拠点として、繊維産業を中心とする地場産業の育成を図るため、新商品の開発研究、人材の育成、販路拡大等、様々な取り組みを行ってきた。今後の活用方法や事業展開等については、検討委員会を設置し地場産業振興センターとともに市としても積極的に検討していく。

### 広域観光の協力体制について

(答) 「奥越前観光連盟」、「福井・岐阜広域観光推進連絡会」、「環白山広域観光推進協議会」などが組織されている。観光パンフレットやロードマップの作成、各方面への出向宣伝、インターネットの情報発信など、幅広い取り組み

をしている。今後は、県で策定中の恐竜街道構想も加わり、広域観光が一段と推進されるものと期待をしている。

### 街づくり、人づくりについて

(答) エココミュニティ構想において、人的ネットワークの構築が重要になってくると考えている。市民と行政が両輪となってまちづくりをすすめることが重要であると考えている。市民ワークショップの中で市民の意見を反映できるようにしたい。ふるさとルネッサンスの集いを月1回開いている。このような議論を通して、人材発掘もすすめていきたい。

### 機構改革による保健福祉行政のメリットについて

(答) 少子高齢化により、保健福祉の連携がますます求められてきている。

機構改革により組織が再編されたことは、市民サービスにもつながり、保健福祉の前進ではないかと思っている。

### 出生数の減少に対する施策について

(答) 勝山で生まれて勝山で育ち、勝山で生活できるようにするのが基本であると思う。サークルやスポーツなどを通して男女の出会いの場ができる環境づくりに力を入れたい。また、観光・企業の活性化・企業誘致などによる仕事の場づくり、そして市職員の資質向上・人材発掘など人材の養成が必要であると考えている。

### いじめ、暴力行為増加への対応について

(答) 教師は、いじめや不快な言動を発する者とも心を通わせ、その思いを

聞き、存在感をアピールできる何かをもてるよう指導しながら、いじめの防止に努めるべきであると考えている。子どもと共感できる心をまわりのおとなたちが持たない限り解決できない。いろんな角度からアプローチを試みたい。

### 教育のバリアフリー化について

(答) 特殊学級の児童生徒数は、福井県においては以前は8人だったが、近年4人以上に緩和された。学級の存続についても昨年から1名でも可能になった。障害をもった児童生徒への愛情と心のバリアフリー化がたいせつであると考えている。

## 一般質問

### 野尻 佐太郎 議員

1. 自主財源及び地方交付税に関連して次の点を問う。
  - ①過去3年間の実績について。
  - ②本年度の見込みについて。
2. 週5日制における教育方針について。
3. 学校菜園と労務の促進について。
4. 男女共同参画事業に伴う人事管理と能率向上について。
5. 市町村合併に取り組む基本的な考え方について。
6. 地場産業振興センターの運営と考え方について。
7. 広域観光の協力体制について。

### 岩見 寿信 議員

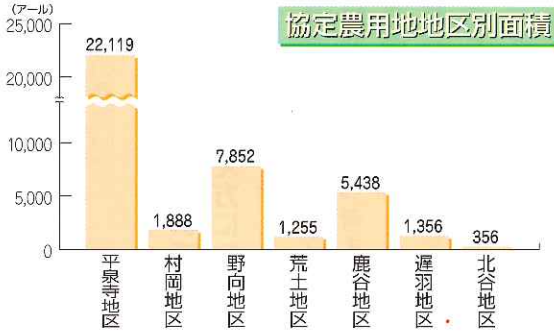
1. 街づくり、人づくりに関連して次の点を問う。
  - ①市民の自主的な活動と行政のサポート体制について。
  - ②グループ活動への支援について。
  - ③ルネッサンス委員会の委員の選任方法について。
  - ④人材発掘について。
2. 福祉行政に関連して次の点を問う。
  - ①少子化の現状と今後の施策について。
  - ②機構改革による保健福祉行政のメリットについて。
  - ③少子化意識調査の実施について。
  - ④各地区での福祉拠点づくりについて。
3. 教育行政に関連して次の点を問う。
  - ①いじめ、暴力行為の増加への対応について。
  - ②教育基本法に対する考え方について。
  - ③教育のバリアフリー化について。

# 平成12年度中山間地域等直接支払事業 29集落に6534万9千円を交付

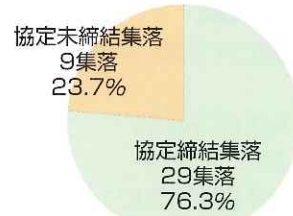
農業生産活動は、国土の保全、水源のかん養、良好な景観形成等、多面的な機能を担っています。しかし担い手の高齢化や減少等により、耕作放棄地の増加が懸念されています。

このようなことから市では平成12年度において、国の助成を受けて中山間地域等直接支払事業を実施しました。同事業は、一定の要件を満たし、適切な農業生産活動や多面的機能を維持・増進する活動に取り組んだ集落に対して、交付金を支出するものです。

平成12年度は、市内29集落に6534万9千円を支出しました。この制度は、平成16年度まで継続されます。



取り組めなかった農用地  
1,695アール 4.0%



協定を締結した集落 (29集落) での農用地の取り組み状況  
(全対象農用地 41,959アール)

協定締結対象集落 (38集落)



共同で畦畔の草刈を行う岡横江集落

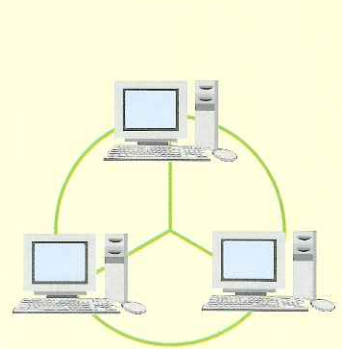
## 勝山市の 情報化について ご意見を お聞かせください

勝山市では、国のIT戦略に沿った情報化に取り組んでいく予定です。地域情報化計画を策定するにあたり、情報化に対する市民のみなさんのニーズを把握したうえで、取り組みたいと考えています。みなさんの率直かつ建設的なご意見をお聞かせください。

**もしインターネットで  
相談や予約ができるとしたら、  
何を希望しますか**

(具体例)

- ・健康相談
- ・公共施設 (市民会館、福祉会館、体育館等) の空き情報検索と予約
- ・図書館の蔵書検索と予約



IT戦略がすすめられる中で、  
勝山市の情報化について  
ご意見はありますか

(具体例)

- ・IT講習を充実して、市民の情報活用能力を高めてほしい
- ・ITに伴う情報化は、人間関係の疎遠を助長するので必要ない
- ・地理的に不利な勝山こそ、IT技術を活用して、その恩恵を享受したほうがよい
- ・CATVや光ファイバーなどの情報通信基盤を整備してほしい

※右記の具体例のほかに、ご意見やご要望を自由に書いてFAX、電子メール、はがき等でお寄せください。

問合・提出先 ▼ 総務課情報統計係  
☎ 内線229番、FAX 88-11119  
E-mail: densan@city.katsuyama.fukui.jp

# 公共下水道・農集排に加入を!

勝山市は昭和52年から公共下水道に着手しています。その後、昭和60年に浄化センターが完成し、それと同時に旧市街地を中心に一部供用を開始しました。平成12年度末現在で661haが供用開始区域となり、約2万人のみならずが公共下水道を使用できるようになっています。これは、公共下水道の認可区域の74.6%にあたります。また、供用開始区域内の水洗化率は、76.1%となっています。

また、農業集落排水事業は平成5年から着手し、2地区で供用を開始し、現在他の2地区で事業を実施しています。

供用区域内の市民のみならずにおかれましては、水洗化促進にご協力いただけますようお願いいたします。

## 平成12年度末 公共下水道整備状況

認可区域面積	885ha
整備面積 (うち供用開始面積660.5ha)	666.9ha
整備率	75.4%
水洗化率	76.1%

### 工事は指定工事店へ

宅地内の汚水を公共下水道または農業集落排水に排除するために設ける排水設備工事は、下水道指定工事店にお申し込みください。

指定工事店では、現地調査をして施行基準に合った工事をするため、計画確認申請書を作成します。工事施行前に指定工事店とじゅうぶん打ち合わせをしてください。

### 公共下水道事業供用開始区域

勝山地区—全域

猪野瀬地区—猪野口、若猪野、高島、

西高島、毛屋の一部、猪野、片瀬、

片瀬町、岡横江の一部

村岡地区—滝波町、郡町、五本寺、黒

原、暮見、寺尾、浄土寺、長山町

野向地区—菟谷の一部、聖丸の一部

荒土地区—松田の一部、布市の一部、

伊波の一部、新保、松ヶ崎

鹿谷地区—保田出村の一部、志田、発

坂の一部

遅羽地区—新道の一部、大袋の一部

### 農業集落排水事業供用開始区域

神谷地区—栃神谷、薬師神谷

北野津又地区—北野津又

### 融資制度をご利用ください

水洗トイレの改造にかかる工事費に対する融資制度を設けています。公共下水道、農業集落排水事業それぞれ制度が異なります。担当課にご相談ください。

問合先 公共下水道Ⅱ下水道課(☎内線333番)  
農業集落排水事業Ⅱ農務課(☎内線288番)

## 排水設備の相談コーナー及び「親子手作りせっけん」講習会

### 排水設備の相談コーナー

とき 8月11日・12日 午前9時～午後4時  
ところ 勝山浄化センター  
※参加は自由です。

### 「親子手作りせっけん」講習会

各家庭から発生する廃油を下水道管に流すと、内壁に付着し詰まるおそれがあります。市では、廃油を利用して手作りせっけんを作る講習会を実施します。ぜひご参加ください。

とき 8月11日・12日  
午前9時・午後1時30分の2回  
ところ 勝山浄化センター  
対象者 小学生の親子  
人数 1回あたり20組、計80組  
定員になり次第締め切らせていただきます。



用意するもの エプロン、ゴム手袋、粉ミルク缶(ふたつき、容量1ℓ)または同等品  
申込・問合先 下水道課普及係(内線333番)



## 市内小学校児童 浄化センター見学

5月初旬から下旬にかけ、市内5校の小学4年生の児童が、浄化センターを訪れました。社会科の授業の一環として、家庭内などから出される汚水がどのようにきれいになっていくのかを学びました。

児童たちは、施設内の機械の構造などについて説明を受けながら、序々にきれいになっていく水を観察していました。

# 子どもを守る安全対策

## 関係機関との連携を

大阪の校内児童殺傷事件をうけ、児童・生徒の安全対策が急務となつている中、「子どもを守るための緊急対策会議」が6月15日、教育福祉会館で開かれました。勝山署と市教育委員会、市内小・中学校の校長および生徒指導主事30名が出席し、活発に意見交換をしました。

はじめに山範男教育長が「かけがえない命が奪われ、とても残念。勝山で大阪と同じ事件が起きないように、警

察からアドバイスをいただきながら対策を考えていきたい」とあいさつしました。

次に学校関係者が、学校側の対策として「グループ下校をさせたり、生徒にブザーをもたせたりしてはどうか」「下校の際、教員が地域の巡回をしてはどうか」などと提案し、警察へは「もっと情報を提供してほしい」、「パトカーでの巡回を」との要望が出されました。

勝山署の東川修三署長は「不審者に会わなかったかなど、毎日子どもたちに確認すると同時に、保護者にも警戒するよう促してほしい。先生は常に危険意識をもち、見知らぬ人が学校に入ってきたら知らないふりをせず、声掛けをするなどの対処をしてほしい」と呼びかけました。

今後の対策として、パトロールを強化するとともに、関係機関と協力して防犯体制の強化を図っていくことにしました。

さらに、子どもの安全対策は、学校や警察だけでなく地域で考えていく必要性を打ち出されました。



## 防犯連絡所の設置

福井県防犯協会と勝山警察署は、5月30日、地域住民の防犯意識の高揚を図るため「防犯連絡責任者」を委嘱しました。委嘱されたのは次のかたがたです。

- (敬称略)
- ▼蒲川裕司(元禄)
  - ▼笠松捷多朗(元町2)
  - ▼和田雅弘(元町3)
  - ▼川井康雄(昭和町1)
  - ▼綿貫一男(昭和町2)
  - ▼森下清澄(昭和町3)
  - ▼木村一郎(旭町1)
  - ▼島田肇(旭町2)
  - ▼北沢諭(旭毛屋)
  - ▼畔川一(立川町)
  - ▼武藤邦雄(上郡)
  - ▼丸屋仁志(上袋田)
  - ▼村島登久(下袋田)
  - ▼金巻一男(中後)
  - ▼辰巳

- ▼聖峯(下後)
  - ▼川端達雄(下長洲)
  - ▼横川智(富田)
  - ▼北山謙治(沢町)
  - ▼谷口博(芳野町)
  - ▼斎藤時夫(下荒井)
  - ▼平澤耕治(滝波)
  - ▼田上滋良(郡町)
  - ▼笹木貞一(長山)
  - ▼森雅昭(柗神谷)
  - ▼大山口喜平(木根橋)
  - ▼長谷川忠夫(若猪野)
  - ▼竹原孫衛(片瀬)
  - ▼武内盛直(平泉寺)
  - ▼林亨(若ヶ野)
  - ▼長谷川正男(深谷)
  - ▼石倉善實(堀名)
  - ▼村田與右(新保)
  - ▼吾田泰基(保田)
  - ▼山岸富男(檜曾谷)
  - ▼田中弘喜(東野)
  - ▼近藤康男(伊知地)
- ※右のかたの自宅には「防犯連絡所」の看板が設置されています。
- 問合先▼勝山警察署地域課 (☎88-00110)

## 子どもを危険から守れ

### 「かけこみ110番」設置



荒土町ではふるさとづくり推進協議会が中心になって、子どもの避難所「かけこみ110番」を設置しました。民家や商店など22カ所に設置された避難所には、ベニヤ板製の看板が掲げられました。

この「かけこみ110番」の設置は、避難所としての役割のほかに、不審者への抑止効果をねらいとしています。また、地域の安全は地域でという住民の防犯意識を高めるとともに、事件に関する情報伝達のスピード化が期待されています。

## 住民協力し

### 不法投棄パトロール

6月16日、北谷町壮年会が町内の不法投棄の現状を把握しようと、パトロールを行いました。朝8時に北谷公民館前に集合した会員12人が車に分乗し、地区の情報をもとに町内全域を回りました。不法投棄されている場所は、道路わきの急な斜面が多く、耕運機や田植え機、エアコン、冷蔵庫などが様々。会員が斜面を下りて、草むらに隠れている廃棄された品物を確認していました。壮年会は、この日確認した不法投棄箇所を地図の上に印を付け、市の環境衛生課に報告しました。



同地区は山間部にあることから、以前から不法投棄が問題になっていました。壮年会では地元の美しい山を守るため、今後不法投棄パトロールを計画しています。

## 副知事と意見交換

### 県政対話で電車存続など要望



「県民とともに歩む対話のある県政」をキャッチフレーズに、県下各市町村で行われている「県政対話」が、6月28日に勝山市民会館で開催されました。

会議には、県があらかじめ選考した団体の代表者16人が参加。県政に関する様々な問題について、意見交換を行いました。

出席者からは最初に、京福電車の事故に関連して「通勤に1時間30分かかっている。一刻も早く復旧してほしい」といった要望が出されました。西川副知事は、事故の徹底究明と電車をできるだけ早く早く走らせることなど、山岸市長とともに国土交通省に向いて要望した内容を紹介し、理解を求めました。

このほか、産業廃棄物処理業者への指導強化や、有機農業指導の充実などについての意見が出されました。

## 勝山橋から長尾山まで

### 恐竜の足跡でんてん

7月1日、勝山橋のたもとから西循環線をたどり長尾山に通じる約4キロメートルの歩道に、市民が恐竜の足跡をペイントしました。恐竜王国勝山推進市民会議と市まちづくり委員会、京福電車利用促進会議が主催したもので、約100人が1日ばかりで完成させました。

30センチほどの足跡を5メートル間隔で描き、所々に小さい足跡を配置して、親子の恐竜を想像させる楽しさも演出。全部で約1000個ほどの足跡をペイントしました。長尾山の入り口と勝山橋のそばにはチャマゴン、チャマリも描かれ、恐竜博物館への「案内ロード」としても目立つようになっています。

おとなに混じって参加した小学生らも、疲れた様子も見せず楽しそうに取り組んでいました。



様子も見せず楽しそうに取り組んでいました。



# ウォーキング ロードも整備



長尾山総合公園  
 チャマゴンランド (公園管理棟)  
 ☎88-8777